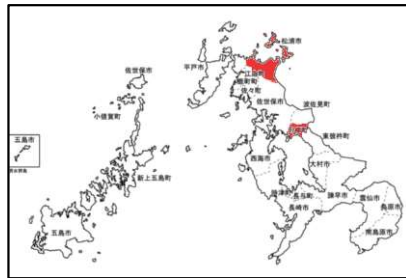


「地方創生整備推進交付金（港整備交付金）」を活用した地域再生計画 （長崎県松浦市及び川棚町の区域の一部）

「体験学習等を活用した松浦地域活性化計画」

作成主体	長崎県、松浦市
区域	長崎県松浦市及び川棚町の区域の一部 (松浦港、調川港、川棚港、青島漁港)
計画期間	R2～R8年度



青島漁港
(漁業体験学習)



松浦港
(松浦港から青島漁港へのフェリー利用)



松浦港
(緑地を整備し観光交流人口拡大を図る)



川棚港
(緑地を整備し観光交流人口拡大を図る)



調川港
(西日本有数の水揚げ基地)



アジフライ
(2019.4.27「アジフライの聖地」を宣言)

◆背景

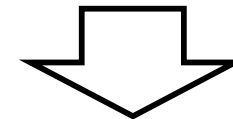
○港湾・漁港施設の老朽化や施設不足により利用者に支障を来している。
○松浦市全域は玄海原子力発電所のUPZ（緊急的防護措置を準備する区域）内にあるが、松浦市の一時集合場所や避難先となる川棚町の避難収容場所としての防災用地の不足、また平時におけるイベント等をおこなう広場が不足し観光客の集約が伸びない状況にあることから、防災緑地を兼ねた観光交流拡大のための広場不足が課題となっている。

◆目標

松浦港のフェリー乗降施設及び航路で接続された青島漁港の漁港施設と調川港の臨港交通施設を一体的に整備することで、乗降客や漁業従事者の安全性向上と漁獲物の円滑な運搬の確保と併せて体験型観光を促進させるとともに、松浦港及び川棚町において防災用途を兼ね備えた緑地整備を総合的に整備することにより、松浦市及び川棚町における観光客数の増加による地域活性化を目指す。

【数値目標】

- ・松浦市の観光客数の拡大 993,111人(H30)→1,023,000人(R8)
- ・川棚町の観光客数の拡大 467,854人(H30)→500,000人(R8)
- ・松浦から青島への体験受入数の拡大 2,827人(H30)→2,900人(R8)



◆取組

- 港湾施設及び漁港施設の整備
 - 港湾施設 係留施設、臨港交通施設、港湾環境整備施設
 - 漁港施設 係留施設

【地方創生整備推進交付金（港整備交付金）（内閣府）】
総事業費 1,655,000千円（うち交付金 790,000千円）